

第 30 回生物学技術研究会への参加報告

フィールド科学系部門 塩路 恒生

1. はじめに（目的）

生物学の研究に携わる大学及び研究機関等の技術職員が日常関わっている研究支援活動における成果や問題点の発表を聴講し、技術の向上、交流及び情報交換を図ることを目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 31 年 2 月 14～15 日 2 日間

場所：岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）

3. 参加者等

受講者：全国の技術系職員 約 140 名

4. 研修内容

1 日目 ・研修講演「電子顕微鏡による研究・実験技術・研究環境」

藤田医科大学 医学部 解剖Ⅱ 白田 信光 教授

・ポスター発表 50 件

2 日目 ・一般口演 12 件、話題提供 1 件

・奨励研究採択課題技術シンポジウム 13 件

5. まとめと感想

研修講演では、電子顕微鏡に関する研究及び技術職員との関わりについて講演があった。その後のポスターセッションにて、自身が普段から総合博物館の依頼業務として関わっているキャンパスの自然環境について「キャンパス内での里山観察講座～観察会を通じて考える自然環境保全～」という題目でポスター発表を行った。他大学の植物管理に関する発表をされた技術職員とも相互に意見交換を行い多くの情報を得ることができた。そのなかでも、国立遺伝学研究所の桜について、名古屋大学の業務支援室との連携による園内作業についての2件の発表は非常に参考になる部分が多く有意義であった。2日目の一般口演では、奨励研究を採択された内容のものが多く、いい刺激を受けることが出来た。

今回の研修において、前回からの連続した内容の発表により広島大学での技術職員における自然環境保全の取り組みについて、他大学へ情報を発信出来ているのではないかと考える。